

近代建築保存活用講演会

渡辺翁記念会館の未来をひらく

～ 近代建築の保存活用とヘリテージ・デザインを考える～



宇部市渡辺翁記念会館（1937年・村野藤吾設計・国指定重要文化財）

列柱、重なり合う曲面壁、紫紺色の塩焼きタイルが象徴的な戦前モダニズム建築。来年2027年には**創建90周年**を迎えます。

日時：2026年10月30日（金）18:30～20:30

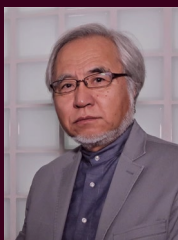
会場：宇部市渡辺翁記念会館 大集会堂
（宇部市朝日町8番1号）

※入場無料/資料準備のため事前予約をお願いします。

● 基調講演講師

田原幸夫 氏

建築家。近代建築保存再生を専門とし、東京駅丸の内駅舎（国重文）など数多くの歴史的建築の保存修復を担当。日本建築学会賞ほか受賞多数。元京都工芸繊維大学教授、日本イコモス国内委員会理事。



● プログラム（予定）

18:30 宇部市長あいさつ（予定）

18:35 基調講演

「（仮題）近代建築の保存活用のデザイン」 田原幸夫 氏

19:50 対談 「渡辺翁記念会館の活用を考える」

田原幸夫 氏 × 清水里司 氏（山口大学工学部教授）

20:15 質疑応答

20:30 閉会

● 申し込み、問い合わせ

基本、スマホ等でQRコードから。
または、harada2982@gmail.com まで
「参加希望」のメールをお送り下さい。



お申込みはこちら

- 主催：（一社）日本建築学会中国支部 共催：宇部市 / 後援：（一社）日本イコモス国内委員会、（一社）DOCOMOMO Japan、（一社）山口県建築士会、（一社）山口県建築士事務所協会、（公社）日本建築家協会中国支部山口地域会 ほか